

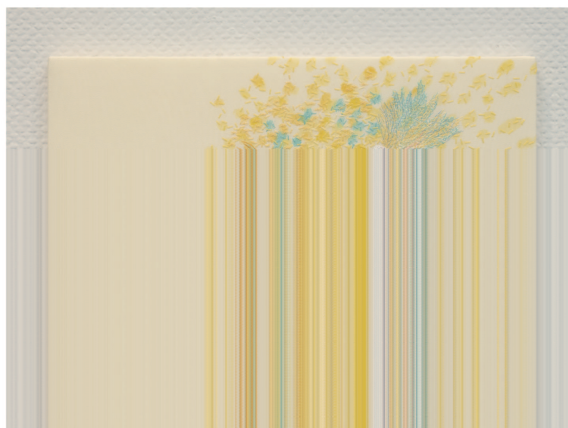
瀬戸 千春
SETO Chiharu



記憶 I

記憶 II

日本刺繍、絹糸、絹布、金糸、紙



記憶 I

私はこれまで巡り合った人々との記憶をテーマに制作を行った。画面に登場する猫は自由や変化の象徴で、そこにはこれまで出会った人たちの姿を投影している。そして猫は私にとって憧れとなる存在でもある。鳥になった私を、夢を持って羽ばたくように猫が導いてくれた7つの記憶の物語である。

私の記憶の中の景色を見た誰かが、その人の大切な記憶を思い出す時間を持つことができるきっかけになれば、と願っている。記憶は鮮明ではないので、曖昧な線で描くように縫い取った。それぞれの記憶から得られた感情は子供の頃の素直な感情と結びつき、絵本のような表現をしたいと思った。

「記憶I-希望」鳥はたくさんの夢を抱えている。鳥の夢が叶うように、猫が応援しようと道案内をしていく。

「記憶I-知恵」猫が学んだ多くの知恵は優しい言葉に変わり、鳥に穏やかな気持ちを与えてくれた。

「記憶I-思考」鳥は物事をあれこれ考えはじめると暗い夜に包まれた。まちのあかりに気づいた時、鳥の心は解放され、あれこれと思い悩むことも必要な時間とわかった。

「記憶I-自由」猫は自分自身を大切にしておいでしている。その様子は、猫だけの時間の流れの中を自由に泳いでいるようだった。

「記憶I-歓喜」猫は夢が広がった先の未来を駆け巡るように鳥に見せてくれた。猫は鳥に夢を追い続ける勇気を与え、明るく前向きな言葉をかけてくれた。鳥は楽しい時間をもらった。

「記憶I-感謝」「素敵な時間をありがとう。」鳥は深々と何度もおじきをする。またどこかで会える日を迎えようと猫と鳥は約束をする。

「記憶I-未来」鳥は未来のことを想像する。鳥はこれまで巡り合った全ての記憶の色と一緒に飛び立っていく。鳥は何にも臆することなく新しい色を見つけていく。

「記憶II」私は記憶を形として表現する方法を探している。箱はゆっくりと流れる夜の川面に月が映っている様子である。月は記憶であり、魚はその記憶の一部を現す。月の光で川は明るく照らされて、月から落ちた魚は川底に向かって潜っていき水の中に閉じ込められた。箱はその水が入ったもので、記憶がしまっておける。箱は私の忘れてはならない大切な記憶をいつでも思い起こさせるdevicとなる。